

10 みだしなみのきまりと留意点（令和6年度）

項 目	き ま り	留 意 点
頭 髪	○ 頭髪は自然な状態に整える。肩に届くまで長く伸びたら束ねる。 ○ パーマ、カール、毛染、脱色、整髪料、装飾品等の使用は禁止とする。（リボン・大きなピンや髪留め）等の使用は禁止とする。	☆ 肩にかからない長さにするか一つか二つに束ねる。 ☆ 目にかからないようにする。 ☆ 縛るときは黒・紺・茶色のゴムとする。 ☆ とめるときは黒・紺・茶色の小さなピンとする。
服	冬服 ア. 標準型（標準マーク入り）の黒色詰め襟学生服（カラーは内蔵タイプ以外はつける） イ. 標準型（標準マーク入り）の黒色学生ズボン 合服 ア. ポケットのある白色で柄のない長袖カッターシャツ（ボタン・糸は白色。裾はズボンの中へ入れる） 夏服 ア. 左右にふたつきポケットのある白色開襟半袖カッターシャツ（裾はズボンの中へ入れる） イ. ズボンは冬服に準ずる。	☆ ボタンをしっかりとかける。 ☆ ボタンは中学生用の標準ボタンとする。 ☆ ズボンのベルトは黒で飾り穴のないもの。 ☆ 冬服の下には合服又は夏服のカッターシャツを着用する。
装	冬服 ア. 本校指定の紺色セーラー服（襟ラインなしの白色襟カバーと黒リボンをつける） イ. 本校指定の紺色スカート 合服 ア. 本校指定の白色長袖セーラー服（黒リボンをつける） 夏服 ア. 本校指定の白色半袖セーラー服（黒リボンをつける） イ. スカートは冬服に準ずる。	☆ 手首のホックをとめる。 ☆ スカートはひざがかくれるようにはく。
共通	○ 制服の下には、白色等の透けにくい肌着を制服からはみ出さないように着用する。冬服は黒・紺・灰色も許可する。 ○ 校章・学年組章・名札は台布につけて左胸ポケットに安全ピンかホックでとめる。 ○ 体育時の服装は、本校指定のものを着用する。	

項 目		き ま り	留 意 点
防 寒 具	衣 類	○ 制服の中に着てもよい防寒用の衣類は、セーターやベスト、トレーナーとし、制服からはみ出さないものとする。(ハイネックやフード、襟付きは禁止) ○ 色は「黒色・紺色・灰色・茶色・白色」とする。	☆ 制服からはみ出さないように着用する。 ☆ 柄はワンポイント程度までのものとする。
	手 袋 ・ マ フ ラ ー	○ 登下校時のみ着用しても良い。 ○ 派手な色やデザインのは避ける。 ○ ネックウォーマーを着用しても良い。 ○ 使い捨てカイロを使用しても良い。	☆ 校舎内での着用は禁止とし、ロッカーに保管する。 ☆ マフラーの着用については、安全に配慮する。
	防 寒 着	○ 登下校時のみ着用しても良い(種類や色の指定はなし)。	☆ 登下校時のみ着用する。 ☆ 教室内ではロッカーに保管する。
靴 下		○ 白・紺・黒色を基調とした運動に適したもの。 ○ ストッキング(黒・ベージュ)を着用してもよい。その場合、靴下ははかなくてもよい。	☆ ラインやブランドのロゴの色付き可。 ☆ ルーズソックスは禁止とする。
靴 ・ 上 履		○ 白色を基調とした運動靴とする。 ○ 上履き・体育館シューズは本校指定のものとする。	☆ ラインやブランドのロゴの色付き可。 ☆ ひも靴の場合、ひもは白色とする。 ☆ ハイカットや厚底など運動に適していない物は使用しない。また、華美なもの、高価なものは避ける。 ☆ 部活動で使用する靴は部練習時のみ使用する。
通 学 鞆		○ 学習用具が十分入り、その重さに耐えられる素材のものとする。 ○ 教室内のロッカーに収まる大きさのものとする。	☆ キーホルダーなどは1つとし、派手にしない。(大きさは生徒手帳程度までのものとする) ☆ 高価な物は避ける。また、紙・ビニールなどの袋は鞆として認めていない。 ☆ 両手が空くリュックサックが望ましい。 ☆ 教室では用具を机の中にしまい、鞆はロッカーの中に保管する。
その他		☆ やむを得ない理由がある時は、事前に担任の先生に申し出て、許可を得ること。	